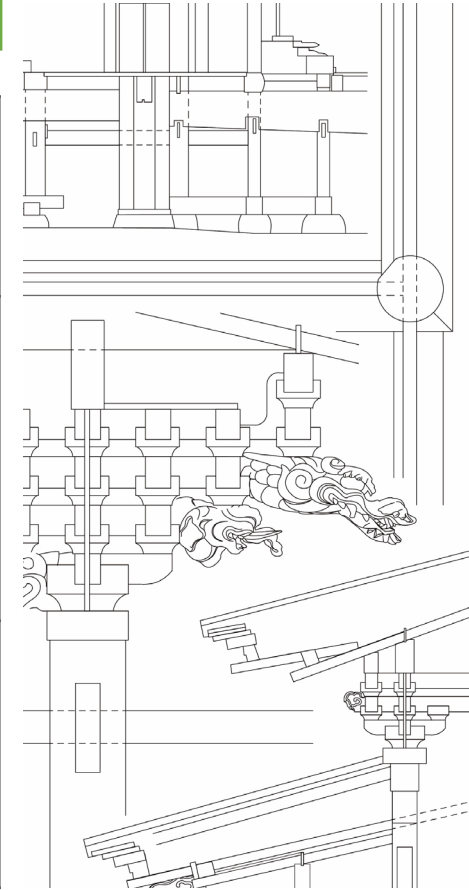


「木のジャングルジム」を応用した伝統木造構法の 現代的実践適用について

主な連携先地域：豊洲



対象地域の特徴や課題	<p>芝浦工業大学建築学部のある豊洲キャンパスは、広いキャンパス内を周辺住民の方々が自由に行き交い、小学生たちの通学、園児たちの遊び場と、地域に根差したキャンパスが展開されている稀有な環境です。その一方で、豊洲地域の方々と大学が直接的に関わるアクティビティが少なく、せつかくの環境が生きかきれているとはいえません。これからは、より地域の方々との交流を目的として、大学の社会貢献活動の1つとして本プログラムを展開します。</p>
取り組みの概要や特徴	<p>日本の伝統木造建築は、幾つもの部材が緻密に重なり組み上げられ、素晴らしい姿を作り出しています。伝統建築の美しさとは、形を作るデザインも大切ですが、宮大工たちが木を組み上げるシステムも重要となります。このシステムのことを、「木組み」といいます。</p> <p>本プロジェクトは、日本の伝統木造建築を作り上げてきた「木組み」の技術を身近に感じてもらい、日本の伝統文化にふれて知ってもらうことを目的として立ち上げました。</p> <p>さらに本プロジェクトの特徴は、参加型のプログラムであることです。「木組み」の一部の技術で作り上げることのできる、「木のジャングルジム」(全国「くむんだー®」木のジャングルジム協会が協賛)と一緒に組むことで、実際にその技術を体感することができます。</p>
主なプログラムなど	<p>新しく完成した豊洲キャンパスにて、「木のジャングルジム」を実施します。</p> <p>芝浦工業大学建築学部のある豊洲キャンパスは、広いキャンパス内を地域住民の方々が行き交うことのできる、自由なキャンパスです。そのキャンパスを舞台にして、建築学分野へ幼年期から興味を持ってもらうことを目的としたプログラムが「木のジャングルジム」です。</p> <p>「木組み」でできたジャングルジムと一緒に組み立てていく、という参加型の建設体験を通して、木造建築の強さや、日本の伝的な組み立ての技術を知り、建築学への興味を持ってほしいと考えています。</p>



担当研究室名/担当教員	<p>建築史・建築保存研究室 (建築学部建築学科 空間・建築デザインコース) ・准教授 小柏典華 WEB SITE 地域デザイン研究室 (建築学部建築学科 空間・建築デザインコース) … 教授 志村秀明 WEB SITE</p>
関連サイト	